

東京工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	ReadingIV	
科目基礎情報							
科目番号	0038		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	電気工学科		対象学年		2		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	『World Trek: English Communication II』（桐原書店）						
担当教員	横溝 仁						
到達目標							
・ 既習英文法の復習と定着を図りながら、英文読解の基本的な技術を身につける。 ・ 多少難易度の高い英文であっても、自分で文章構造を分析し、概要や要点を把握することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安 (可)		未到達レベルの目安
評価項目1	教科書の文章を構造や展開に注意して読み、書き手の意図、概要や要点をほぼ全て正確に把握することができる。		教科書の文章を構造や展開に注意して読み、書き手の意図、概要や要点を概ね正確に把握することができる。		教科書の文章を構造や展開に注意して読み、書き手の意図、概要や要点を概ね把握することができる。		教科書の文章を読み、その概要を把握して必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点を把握することが十分にできない。
評価項目2	辞書無しで平易な英語の文章を毎分150語の速度で読める。		辞書無しで平易な英語の文章を毎分100語の速度で読める。		辞書無しで平易な英語の文章を毎分80語の速度で読める。		辞書無しで平易な英語の文章を読む速度が毎分80語に満たない。
評価項目3	定期テスト、小テスト、課題等の合計点が80点以上である。		定期テスト、小テスト、課題等の合計点が70点以上である。		定期テスト、小テスト、課題等の合計点が60点以上である。		定期テスト、小テスト、課題等の合計点が60点未満である。
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	いわゆる「使える英語力」を身につけるためには、低学年一とくに1・2年生一での《英語の基礎体力づくり》が欠かせません。この授業では主に「読解」に焦点をあて、英語の基礎体力づくりを行います。近い将来、皆さんは様々な場面で英語の文章を読む機会があるはずです。いくら翻訳アプリの精度が上がったとはいえ、それで事足りるというわけではありません。当然、アプリを使えない場面も出てくるでしょう。この授業では皆さんに「英文読解の基本技術」を修得してもらい、多少難易度の高い（専門性の高い）英文であっても、自分で構造を分析し、概要や要点を把握できるようにしてもらいます。2年生までに「英文読解の基本技術」をしっかり修得しておけば、3年次以降、よりスムーズに発展的な内容へと移行できるはずです。						
授業の進め方・方法	0. 小テスト&Intro-Activity → 1. 到達目標の提示 → 2. 本文確認（単語確認、リスニング、音読、Q&A）→ 3. Grammar & Key Sentences → 4. ペア・グループワーク、副教材（演習・チャレンジ問題）、など → 5. まとめ						
注意点	・ 教科書、参考書、辞書、ハンドアウトを管理するバインダー等を持参すること。 ・ 基本的に復習を重視するが、英語が苦手な学生は本文の予習が欠かせない。分からないところがあれば必ず質問にすること。 ・ 英語学習は筋トレのようなもの、日々の学習（継続性）が非常に重要。一夜漬けは×。 ・ 受講者の学習到達度に合わせ、適宜学習内容や進度を変更することがある。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	Lesson 6-1			形式目的語について説明できる。	
		2週	Lesson 6-2			形式目的語について説明できる。	
		3週	Lesson 7-1			関係代名詞の用法について説明できる。	
		4週	Lesson 7-2			関係代名詞の用法について説明できる。	
		5週	Lesson 8-1			分詞構文について説明できる。	
		6週	Lesson 8-2			付帯状況のwithについて説明できる。	
		7週	総復習、中間試験対策			学習した文法事項や読解スキルを活用して正確に英文を読解できる。	
		8週	中間試験			学習した文法事項や読解スキルを活用して正確に英文を読解できる。	
	4thQ	9週	試験返却 Lesson 9-1			仮定法について説明できる。	
		10週	Lesson 9-2			仮定法について説明できる。	
		11週	Lesson 10-1			準否定語、さまざまな比較表現について説明できる。	
		12週	Lesson 10-2			同格のthat、倒置、省略、強調構文を含む英文を読解できる。	
		13週	Diary ("The Diary of Anne Frank")1			学習した文法事項や読解スキルを活用して正確に英文を読解できる。	
		14週	Diary ("The Diary of Anne Frank")2			学習した文法事項や読解スキルを活用して正確に英文を読解できる。。	
		15週	総復習、学年末試験対策			学習した文法事項や読解スキルを活用して正確に英文を読解できる。	
		16週	期末試験			学習した文法事項や読解スキルを活用して正確に英文を読解できる。	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
評価割合						
	試験	小テスト	課題	その他	合計	
総合評価割合	60	20	10	10	100	
基礎的能力	60	20	10	10	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	